

●自己資本の充実度に関する事項

	平成29年9月期		平成30年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額合計	7,818	312	7,860	314
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	8,408	336	8,494	339
(i) ソブリン向け	10	0	10	0
(ii) 金融機関向け	1,467	58	1,332	53
(iii) 法人等向け	1,945	77	1,984	79
(iv) 中小企業等・個人向け	541	21	542	21
(v) 抵当権付住宅ローン	492	19	623	24
(vi) 3か月以上延滞等	11	0	10	0
(vii) 取立未済手形	0	0	0	0
(viii) 出資等	923	36	925	37
(うち出資等のエクスポージャー)	923	36	925	37
(うち重要な出資のエクスポージャー)	—	—	—	—
(ix) 他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	1,893	75	1,891	75
(x) 信用協同組合連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	50	2	50	2
(xi) その他	1,072	42	1,123	44
② 証券化エクスポージャー	—	—	—	—
③ 経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	87	3	43	1
④ 他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 677	△ 27	△ 677	△ 27
⑤ CVAリスク相当額を8%で除して得た額	—	—	—	—
⑥ 中央清算機関関連エクスポージャー	—	—	—	—
ロ. オペレーショナルリスク	455	18	443	17
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	8,273	330	8,303	332

(注) 1. 所要自己資本の額 = リスク・アセットの額 × 4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、地方公共団体金融機構、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会等のことです。

4. 「3か月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

5. 「その他」とは(i)～(x)に区分されないエクスポージャーです。具体的には、上記(i)～(x)に含まれない、貸出金、未収利息、固定資産、仮払金等です。

6. オペレーショナルリスクについては、当組合は基礎的手法を採用しています。

$$\frac{\text{＜オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法＞}}{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15\%}} \div 8\%$$

直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数

7. 単体総所要自己資本額 = 単体自己資本比率の分母の額 × 4%

●信用リスクに関する事項(証券化エクスポージャーを除く)

○信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の残高(業種別及び残存期間別)

(単位: 百万円)

エクスポージャー区分	信用リスクエクスポージャー期末残高								3か月以上延滞エクスポージャー			
	平成29年9月期		平成30年9月期		平成29年9月期		平成30年9月期					
	地域区分	業種区分	期間区分	うち、貸出金	うち、債券	うち、デリバティブ取引	うち、貸出金	うち、債券	うち、デリバティブ取引	うち、貸出金	うち、債券	
内	15,057	14,335	3,338	3,763	4,218	3,621	—	—	—	—	46	44
外	1,405	1,673	—	—	1,405	1,673	—	—	—	—	—	—
地域別合計	16,462	16,008	3,338	3,763	5,623	5,294	—	—	—	—	46	44
製造業	702	990	—	—	702	990	—	—	—	—	—	—
農業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
林業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	100	100	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	100	100	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—
情報通信業	997	997	—	—	402	402	—	—	—	—	—	—
運輸業	400	300	—	—	400	300	—	—	—	—	—	—
卸売業、小売業	677	672	—	—	502	498	—	—	—	—	—	—
金融・保険業	9,088	8,214	150	150	2,411	2,099	—	—	—	—	—	—
不動産業	501	300	—	—	501	300	—	—	—	—	—	—
各種サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国・地方公共団体等	502	501	—	—	502	501	—	—	—	—	—	—
個人	3,188	3,612	3,188	3,612	—	—	—	—	—	—	46	44
その他	203	217	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
業種別合計	16,462	16,008	3,338	3,763	5,623	5,294	—	—	—	—	46	44
1年以下	5,927	5,606	906	888	704	501	—	—	—	—	—	—
1年超3年以下	841	736	38	27	601	708	—	—	—	—	—	—
3年超5年以下	1,003	883	93	75	910	808	—	—	—	—	—	—
5年超7年以下	1,306	1,208	105	110	1,201	1,098	—	—	—	—	—	—
7年超10年以下	1,429	1,389	134	115	1,294	1,273	—	—	—	—	—	—
10年以上	2,855	3,333	2,045	2,530	810	803	—	—	—	—	—	—
期間の定めのないもの	3,098	2,849	16	14	100	100	—	—	—	—	—	—
残存期間別合計	16,462	16,008	3,338	3,763	5,623	5,294	—	—	—	—	46	44

(注) 1. 「3か月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞しているエクスポージャーのことです。

2. 上記の「その他」は、裏付となる個々の資産の全部又は一部を把握することが困難な投資信託等及び業種区分に分類することが困難なエクスポージャーです。

具体的には現金、その他資産、固定資産等が含まれます。

3. CVAリスクおよび中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。

4. 貸出金の未収利息については、残存期間別の各期間には振り分けせず、全額を「期間の定めのないもの」の合計欄に計上しています。

○一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の残高及び前年同期比増減額

(単位: 千円)

項目	平成29年9月期		平成30年9月期	
	残高	前年同期比	残高	前年同期比
一般貸倒引当金	10,851	△ 274	12,262	1,410
個別貸倒引当金	24,810	△ 2,087	24,105	△ 705
貸倒引当金合計	35,661	△ 2,362	36,367	705
貸出金償却額	—	—	—	—

○リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等

(単位:百万円)

告示で定めるリスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	平成29年9月期		平成30年9月期	
	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し
0	—	549	—	563
10	—	100	—	100
20	301	7,336	301	6,663
35	—	1,407	—	1,780
50	2,314	2	1,809	1
75	—	721	—	722
100	587	2,697	866	2,753
150	94	0	101	—
250	—	312	—	313
1250	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合 計	3,297	13,129	3,079	12,899

(注)1.格付は、適格格付機関が付与しているものに限ります。

2.エクスポージャーは、信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しています。

3.コア資本に係る調整項目となったエクスポージャー(経過措置による不算入分を除く)、CVAリスクおよび中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。

●信用リスク削減手法に関する事項

○信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位:百万円)

ポートフォリオ	信用リスク削減手法		適格金融資産担保		保 証		クレジット・デリバティブ	
	平成29年9月期	平成30年9月期	平成29年9月期	平成30年9月期	平成29年9月期	平成30年9月期	平成29年9月期	平成30年9月期
信用リスク削減手法が適用された エクスポージャー	12	11	—	—	—	—	—	—
① ソブリン向け	—	—	—	—	—	—	—	—
② 金融機関向け	—	—	—	—	—	—	—	—
③ 法人等向け	—	—	—	—	—	—	—	—
④ 中小企業等・個人向け	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 抵当権付住宅ローン	—	—	—	—	—	—	—	—
⑥ 3か月以上延滞等	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦ 取立未済手形	—	—	—	—	—	—	—	—
⑧ 出資等 (うち出資等のエクスポージャー)	—	—	—	—	—	—	—	—
(うち重要な出資のエクスポージャー)	—	—	—	—	—	—	—	—
⑨ 他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等に該当するもの以外のもにに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—
⑩ 信用協同組合連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—
⑪ その他	12	11	—	—	—	—	—	—

(注)1.当組合は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

2.「その他」とは①～⑩に区分されないエクスポージャーです。具体的には、貸出金、未収利息、固定資産、仮払金等です。

●派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

該当事項はありません。

●信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

該当事項はありません。

●証券化エクスポージャーに関する事項

該当事項はありません。

●出資等エクスポージャーに関する事項

○出資等エクスポージャーの貸借対照表計上額等

(単位:百万円)

区 分		出資等エクスポージャー							
		貸借対照表 計上額	うち、充買目的有価証券に 該当するもの 貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価差額	うち、その他有価証券で時価のあるもの				
					取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	評 価 差 額	うち益	うち損
上 場 株 式	平成29年9月期	2,415	—	—	1,052	2,415	1,362	1,362	—
	平成30年9月期	2,510	—	—	1,052	2,510	1,457	1,457	—
非 上 場 株 式 等	平成29年9月期	125	—	—	—	—	—	—	—
	平成30年9月期	125	—	—	—	—	—	—	—
合 計	平成29年9月期	2,540	—	—	1,052	2,415	1,362	1,362	—
	平成30年9月期	2,635	—	—	1,052	2,510	1,457	1,457	—

(注)1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。

2.その他有価証券の評価差額は貸借対照表では認識されますが損益計算書では認識されません。

○子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額等

該当事項はありません。

○出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位:百万円)

		売却額			株式等償却
		売却益	売却損		
出資等エクスポージャー	平成29年9月期	—	—	—	—
	平成30年9月期	—	—	—	—

●金利リスクに関する事項

○銀行勘定における金利リスクに関する事項

99%タイムラインを用いた30年9月末を基準日とする金利ショックに対する損益・経済的価値の増減額:金利リスク118百万円